

第4回_B 班議事録

日時: 2024 年 12 月 2 日 (月) 13:28 - 15:52

場所: 前橋市中央公民館

参加者

- ・ 前橋市職員
- ・ コーディネーター
- ・ 委員

1. 提案書の整理

- ・ お互いを理解し助け合う人づくり
 - 支援を必要とする人々が何に困っているのかを理解し、助けるための教育や活動を推進。
 - 学校や地域での教育、ボランティア活動の参加を通じて、自然に付き合える社会を作る。

2. 当事者の声を活かした社会のしくみづくり

- ・ 当事者の声を聞く
 - 支援を必要とする人々の声を聞いてから決めることの重要性。
 - 実際の声を反映した改善が必要。

3. 暮らしやすい社会を実現する環境づくり

- ・ 物理的・情報的な問題
 - 道路の使いづらさ、階段や段差の問題、案内看板の見えにくさなどを改善。
 - 情報提供の手段を考える。
 - 地域での訓練や情報共有を通じて、非常時に対応できる体制を作る。

4. 支援の充実

- ・ 福祉の観点

- 支援を充実させるだけでなく、その他の方法で福祉の問題を解決することが重要。

5. 支援の担い手と環境づくり

- **支援の担い手**

- 学校、クラブ、ボランティア、企業、市民、近所の人々が支援の担い手として挙げられる。
- 支援を必要とする人々が自分の課題を認識し、自ら発信することの重要性を確認。

6. 情報共有とコミュニケーションの壁

- **情報共有の難しさ**

- 新旧住民の情報交換の難しさを議論。
- 市民の立場に立った相談窓口の必要性を確認。
- 福祉政策の周知徹底の重要性を確認。

7. 地域の情報共有と支援

- **地域の情報共有**

- 地域の情報を吸い上げる仕組みの必要性を確認。
- 地域ケア会議や町社協の役割について議論。
- 窓口の一元化の難しさを確認。

8. ワークショップの感想

- **参加者の感想**

- ワークショップの目的や地域福祉計画の策定についての感想。
- 提案書の作成が一つの仕事であり、これからの課題。